



議会だより

●発行：鹿児島県知名町議会
 ●編集：議会広報委員会
 ●発行日：平成29年10月25日
 ●〒891-9295
 鹿児島県大島郡知名町知名307
 TEL 0997-93-3119



美しい自然は町民の宝

奄美群島国立公園の指定を受け、自然保護への取り組みや資源活用により、交流人口の拡大が期待される。

主な内容

◆ 第1回・第2回臨時会・第3回定例会のあらまし	2
◆ 一般質問	3～10
◆ 第1回・第2回臨時会・第3回定例会で審議された案件	11～12
◆ 平成28年度決算の状況	13
◆ 議会の動き／編集後記	14



ちなボー
知名町マスコットキャラクター

平成29年第1回臨時会・第2回臨時会・第3回定例会

第1回臨時会・第2回臨時会 第3回定例会のあらまし

知名町議会第1回臨時会は7月10日に開かれ、平成29年度上城小学校屋内運動場大規模改造工事請負契約の締結を可決しました。

また、第2回臨時会は8月21日に開催され、余多防災拠点施設建設事業建設工事請負契約の締結を可決し、同意案件では、農業委員会委員の任命1件、副町長の選任1件に同意しました。

第3回定例会は、9月25日から29日までの日程で開かれました。今定例会では、町政全般に対する一般質問に8名の議員が登壇し、町政発展のための活発な議論が交わされました。

議案審議は、平成28年度水道事業会計剰余金の処分を原案可決後、決算審査特別委員会を設置し、平成28年度一般会計など11会計全ての会計の決算を認定、専決処分事項の承認1件、一般会計並びに特別会計など5会計の補正予算を原案可決、単独議案の知名辺地総合整備計画の変更など2件を原案可決、字の区域変更など2件を可決、教育委員会委員の任命1件に同意しました。

第3回定例会 一般質問

8名の議員が町政を問う

一般質問は、行財政全般にわたる政策論議の場であり、より良い町政を目指して町政の各方面にわたって一般質問が行われました。3ページから掲載の内容は、主な項目についての質問と答弁の要旨であり、文責は質問者にあります。（質問順に掲載）

○ 今井 吉男 議員

1. 町政70周年関連事業の進捗状況について
2. 火災や災害発生に備えた消防施設の点検について
3. 補助事業を活用した養護老人ホーム長寿園の建て替えについて
4. 平成30年4月から変わる国民健康保険制度について

○ 福井 源乃介 議員

1. 観光振興対策について
2. 北朝鮮のミサイル問題について
3. 畜産の振興対策について

○ 新山 直樹 議員

1. 防災拠点、避難所について
2. 知名漁港の周辺整備について
3. 公営住宅の整備について

○ 外山 利章 議員

1. さとうきび振興について
2. 知名町地域防災計画について

○ 平 秀徳 議員

1. 道路改良について
2. 中山間地域総合整備事業知名地区について
3. 下平川小学校屋内運動場整備について

○ 中野 賢一 議員

1. 天皇・皇后両陛下奄美群島ご訪問について
2. さとうきび生産及びハーベスター料金について
3. 知名町の奨学資金制度について

○ 宗村 勝 議員

1. 自殺対策について
2. 第二知名東部地区第3換地区（大野地区）の道路整備について
3. 教育遺産の整備について
4. フローラルパークの再整備について

○ 西 文男 議員

1. 本町の地域防災計画の修正箇所について
2. 干ばつ対策について
3. ミカンゴミバエの対策について



今井吉男議員

役場新庁舎建設検討委員会の発足は

町長／6月26日に発足した



寄贈された弓削先生の資料

問 町制70周年関連3事業の進捗状況について、役場新庁舎建設検討委員会の発足は。

答 町長 6月26日に役場新庁舎建設基本構想検討委員会を発足、第1回委員会を開催し、庁舎の現状についての報告と、庁舎建設に係る今後のスケジュールについて確認を行った。

問 故・弓削政己氏寄贈図書管理状況について。

答 教育長 奄美群島史研究を牽引してこられた、故・弓削政己氏が所蔵していた蔵書・史料（古文書）群は、貴重な史料ですが、生前から知名町へ寄贈の意志が伝えられ、既にダンボールで35箱が届いており、中央公民館の

答 町長 消防団は、地域住民の最も身近な防災機関であり、消防活動をはじめ、予防警戒活動、防災指導などに引き続き消防施設及び装備等の点

問 火災や災害発生に備えた消防施設等の点検について。



町誌

答 町長 統・知名町誌 発行は、まだ「案」の段階です。どのような組織で編集作業に取り組むかなど、これから具体的な検討に入りたいと考えている。

問 「町誌」続編（仮称）の編集状況は。

資料室に梱包のまま保管してあり、残り200箱ほど寄贈して頂く予定になっている。



長寿園正面玄関

問 補助事業を活用して「養護老人ホーム長寿園」の建て替えはできないか。



消防水そう点検

検を毎月実施し、地域防災の強化を図っていく。

答 町長 今回の制度改正により、平成30年度からは、県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保等を行っていきます。制度改正についての情報は、町ホームページや広報紙など、パンフレット配布等による周知を図ります。

問 平成30年4月から変わる国民健康保険制度の内容と動向について。

答 町長 平成30年度からは、県から示された納付金額を県へ納めることとなるため、県が示す標準保険税率を参考に算出するので、現段階では保険税額が上がるのか、下がるのか、はつきりしない状況です。

問 平成30年4月から変わる国民健康保険制度に伴い、本町の国民健康保険税率は引き上げるのか。

答 町長 「養護老人ホーム長寿園」は、昭和45年9月11日落成、築45年が経過、建物の老朽化が進行している状況であり、早急に検討委員会を発足させ、総合的な見地から検討していく。

観光振興の面から、田皆新城海岸線（田皆岬～牧野牛舎間）の整備は

町長／平成30年度から舗装工事を行う予定



福井源乃介議員

問 観光ルートの道路整備も必要ではないか。
答 町長 田皆新城海岸線は、平成30年度から新城牧野牛舎そばの交差点から田皆岬方向へ約800mを整備する予定であります。



田皆新城海岸線

問 観光振興について、新たな知名町観光振興計画の策定が必要ではないか。
答 町長 におきのえらぶ島観光協会が平成29年3月に「アイランドプラスおきのえらぶ島計画基本計画書」を作成し、様々な事業展開をしながら、島らしい観光に取り組みっており新たな策定は他の振興計画と連動させながら考えます。

問 大手資本による乱開発や悪質なルール違反に対処できる法整備も必要ではないか。

答 町長 知名町自然環境保全条例に鍾乳洞や洞窟は含まれておらず、実際に洞窟内でのような問題が発生しているか等ガイド団体から現状報告を受けて関係機関、関係課との協議を行います。

問 エコツアーガイドの保護も必要ではないか。
答 町長 広域事務組合が主体となつて国や県、12市町村で組織する「奄美群島エコツアーリズム推進協議会」を設置し、世界自然遺産登録を見据え、質の高いガイドを育成・認定するシステムを構築し、昨年度、沖永良部島においても「認定ガイド講習」が開催され認定ガイドが誕生しております。

問 貴重な資源の劣化を防ぎ環境保護基金にするため、洞窟や鍾乳洞に入る協力金（入洞税）の創設も必要ではないか。
答 町長 鍾乳洞の劣化防止や環境保護については、今後、沖永良部昇竜洞観光社や両ヶイビング協会から意見を聞きながら検討していきたいが

入洞税のような協力金の創設は、入洞者の負担増につながるため現在のところ考えていません。

問 客室不足を解消するため民宿の開業要請や民泊の推進等も急ぐべきではないか。

答 町長 島の民泊推進事業において民宿が1軒、民泊が2軒開業しました。また、個人で手続きを行い、開業した事業者もあります。

問 自然休養村管理センターを解体してフォーラルホテル別館を建設する考えはないか。

答 町長 立地的に見晴らしも良好とは言えず、多額の費用を要するため計画していません。

問 野猫・野良猫の収容施設整備や避妊手術等を進めるべきではないか。

答 町長 猫をはじめペットの飼養や管理について町民のみならずに広報・啓発活動を行い、適正なペットの飼養・管理についての共通認識の醸成に努めます。

問 四並蔵神社奉納相撲大会は、大変厳しい運営状況にあります。予算を増額して持続的な大会にすべくではないか。

答 町長 今後の運営について相撲大会実行委員会から具体的な相談があれば、ふるさと夏まつり実行委員会で協議していきたい。



四並蔵神社奉納相撲大会

問 北朝鮮のミサイル問題についての考えは。

答 町長 弾道ミサイルを想定した住民避難訓練の実施については、実施しなければと認識しているが、実施の時期や訓練の内容等について関係機関と協議してまいります。

問 畜産の振興対策として、子牛供給産地を維持するため30・50プロジェクト（仮称）（30頭規模農家20戸・50頭規模農家10戸育成）増頭を支援すべくではないか。

答 町長 増頭に積極的な生産者に対する振興策として畜産振興会や農協と連携して取り組んでいきます。



新山直樹 議員

防災拠点、避難所の備蓄について

町長／庁舎建設検討会等で備蓄倉庫の整備を考え、町で管理、運営し災害時に貸し出して対応

問 奄美群島成長戦略推進交付金を活用し、公民館を防災拠点施設としての機能向上を図るため施設の改修、バリアフリー化、非常用電源を設置し防災機能の強化を図ってきましたが、避難時の毛布や飲料水などの備蓄はどのような形でしているのか。

答 町長 防災拠点施設整備事業では、主に各字の公民館の改修工事を目的とし、備蓄品である毛布や飲料水等は導入していません。今後、庁舎建設検討会等で備蓄倉庫の整備を考え、町で管理、運営し災害時に貸し出して対応していきたい。

問 避難所施設として各小中学校も指定されていますが避難所としての機能を果たすためにどのような設備が設置されているのか。

答 教育長 町内の小中学校の校舎、体育館については大規模災害時に避難所として使用することが想定され、校舎については建て替えが完了し、体育館については、現在、上城小学校が改修中となっています。避難所としての機能をはたすための設備については、今後、防災関連事業の中で導入できる設備がありまし

たら設置にむけ検討していきたい。

問 知名漁港臨港道路には側溝の蓋の破損や規格違いのため隙間があり、また鉄製グレイドング受けの不具合があり危険であると思うが、修繕する見込みはあるのか。

答 町長 臨港道路については、利用形態や隣接地域との関連等に配慮し、安全かつ円滑な交通を確保するために整備を行っており、側溝については、老朽化や経年的な利用形態の変更等により、側溝蓋

の破損や老朽化など一部不具合が生じており、県では修繕費の予算要望を行っているところですが、維持管理については、限られた予算の中で、緊急性の優先度を総合的に勘案し、順次、対応していきたい。

問 マリンパークの木製遊具の付け根の部分やネットなどの腐食、劣化等があり、また上部においては一部材などが外れていて危険である。フーロリアルパーク同様に遊具の整備及び、公園内の再整備をする予定はあるのか。

答 町長 遊具については、危険箇所がないが再点検したところ、一部劣化等が見受けられる箇所もあり、設置から26年ほど経過していることなど、撤去も検討しなければいけないと考えるが、公園内の再整備については現在のところ予定しておらず、修繕等で維持管理を行うことが困難になった際には、利用者等による把握しながら、公園の施設整備ができる補助事業等を確認し再整備を行うことを検討します。

問 公営住宅において駐輪場の整備がされていない住宅等を今後整備する予定はないのか。

答 町長 昭和60年度以降では、5団地93戸の中で駐輪場の整備がされていないのが、住吉団地、白浜団地（北棟、南棟）21戸であり、現状は階段下等に駐輪しているため、通行に支障をきたしているのですが、今後は世帯状況、駐輪スペース、財政状況を踏まえて整備の方向で検討したい。



知名漁港臨港道路側溝



駐輪場整備が望まれる

干ばつの状況を踏まえ、しっかりと した対策を



外山利章 議員

町長／関係機関と協議し取り組んでいきたい

問 干ばつの状況を踏まえ、しっかりとした対策を。

答 町長 町畑灌未整備地区など今までの以上の対策を講じる必要がある。関係機関と協議し取り組んでいきたい。

問 一・さとうきび振興。全耕地面積に対する灌漑施設の整備率ならびに未整備地区の灌漑対策は。

答 耕地課長 設置率は概ね二十九パーセント、未整備地区では4台の散水車による散水を行っています。

問 和泊町に比べ散水車の稼働数が少ないが両町の散水車一台当たりの利用料金の差がその要因として考えられるが価格差の原因は。

答 農林課長 本町は散水施設（ポンプ、タンク）を移動する車をリースで借り受け、糖業振興会助成により一台当たり千円で散水を行っているが、和泊町は散水専用車を自己保有し町の予算措置により一台二百五十円で散水を行っている。

問 本町も早い段階での予算対応などしっかりとした干ばつ対策を講じるべきではないか。

答 町長 町畑灌未整備地区がない地域もかなりあるので、散水などの干ばつ対策を講じなければならぬ。



干ばつ対策（散水状況）

問 さとうきびの交付金単価設定に地域の実情が反映されるよう県、国への要請は行われているか。

答 町長 J・A、奄美群島価格対策協議会などを通じ国への要請が行われているが、今後は生産者も一体となった要請活動の必要性が議論されている。

問 管理作業専門の受託組織として農業機械銀行の設立は、農家の負担軽減や雇用の創出に繋がるのでは。

答 農林課長 県内の事例調査を行ったが機械の確保、更新など運営的に厳しい点があり、沖永良部では農作業委託体制の充実を図っている。

問 開発組合の受託作業の支払方法をさとうきびの代金決済にすることで利用率も向上すると思うが。

答 町長 開発組合の財政状況もあるのでこの一年の実績を勘案しながら議論していきたい。

問 南米糖業の設備が老朽化しリスクを抱えての操業となっているが、設備更新に向けた協力体制は。

答 町長 生産者が安心してさとうきび作りができるよう補助事業導入など町として支援できるところはあらゆる面で協力していきたい。

問 循環型農業の確立やエネルギーの今後の発展に向け、新たな視点から取り組む必要があると考えるが。

答 町長 エネルギー、電力供給など新たな観点からさとうきび産業を広げることが可能

であれば行政としても支援できることは協力していきたい。

問 二地域防災計画について、避難所運営協議会や避難所マニュアルの策定など町の防災計画と連動した地区防災計画の策定は。

答 町長 自主防災組織育成の点からも、区長と連携を図りながら各集落で策定できればと考えている。

問 災害時能力を十分に発揮するためにも消防団と各防災機関の役割分担が必要と考えるが行われているか。

答 総務課長 これまでも各防災機関の協力のもと対応してきているが、指揮系統や細かい役割分担など消防署、消防団幹部との意見交換を行い検討していきたい。

問 食料やライフライン確保に向けた民間事業者との連携協定の締結は行われているか。

答 町長 電気・ガスについては災害時における応援協定を締結しています。食料については現在行われていないが今後検討し取り組んでいきたい。



平 秀徳 議員

道路改良について

町長／引き続き事業採択へ努力



県道上平川線

問 町長 Ⅱ 開通は今年中の開通を予定しておりますが、平成30年12月までに開通となりませう。今後の予定は、残り91mの改良工事及び581mの舗装工事を予定しております。歩道は当初の計画に無かつたこともあり、また、歩道基準設置には通行車両500台、児童、生徒数40名以上となり、歩道設置は厳しい。

問 ハチマキ線（西部2期地区）下城～上城間の開通は、今後の延伸及び歩道の計画は、今後



ハチマキ線延長



ハチマキ線下城～上城間終点

問 町長 Ⅱ 平成29年度から7ヶ年で計画、事業費八億七千九百万で排水路の整備、奥ため池改修、上城団地畑かん整備、農道（上平川地区）を含む、及び集落道の整備、実施年度は確定していませんが、農道は24路線で、基盤整備地区外で用地買収を伴う路線を優先して考えており、推進委員会を通して決定していきます。

問 下平川小学校屋内運動場整備について。



下平川小体育館

問 県道、下平川～内城線の今後の延伸計画について。

答 町長 Ⅱ 下平川～上平川約500mが、平成22～26年に整備され、上平川、久志検、赤嶺字から要望もあり、町から県への要望書を平成26年、27年に提出。当地区の必要性、重要性、緊急性、効率性、熟度の評価を行った上で決定する。人家密集地区で多額の用地補償費を要する地区は優先度評価が厳しい状況にあるが、早期事業採択に向け要望します。

問 中山間地域総合整備事業知名地区について。

答 町長 Ⅱ 平成29年度から7ヶ年で計画、事業費八億七千九百万で排水路の整備、奥ため池改修、上城団地畑かん整備、農道（上平川地区）を含む、及び集落道の整備、実施年度は確定していませんが、農道は24路線で、基盤整備地区外で用地買収を伴う路線を優先して考えており、推進委員会を通して決定していきます。

問 下平川小学校屋内運動場整備について。

さとうきび生産及びハーベスター料金について



中野賢一 議員

町長／再生産可能な生産者交付金の確保、単収や品質の安定政策対策に取り組む

問 少子高齢化が進むなか、人口は減少し、農家の皆様も高齢になり、後継者も少なくなっています。知名町農家の大半が、さとうきび作りで生活していると思います。さとうきび生産者を悩ませているのが、肥料の高騰やハーベスター料金だと思われる。機械導入は補助を事業であり、生産者のために少しくも値下げすることができないのか。ハーベスター料金は近年、231円値上げされ、料金は「沖永良部ケンハーベスター利用組合」で決めており、生産者は弱い立場にあります。高齢者や小規模生産者も大変な思いでさとうきびを生産しています。先月（8月）本町にて開催された「知事とさとうきび生産対策本部の担当者から、交付金を上げることは出来ないかと質問されていますが、さとうきび生産者のために行政の方で、沖永良部ケンハーベスター利用組合に働きかけるなり、指導又は助言等できないのか。

①さとうきび生産（後継者等含めて）について。



テッポウユリで迎えを

答 町長 近年の農業を取り巻く情勢は、高齢化の進展に伴う担い手の減少により生産力が低下すると共に、肥料等の生産資材の高騰により、生産環境は厳しい状況が続いていると認識しています。さとうきびは、本町の基幹作物であるので、高齢化の進展に対応した担い手の育成・確保、適期管理作業の推進、優良種苗の普及、病害虫防除、機械化による省力化、作業受委託体制の強化・充実などの振興方策に努めており、近年、台風や干ばつ等の気象災害、メイチュウなどの病害虫被害により、単収が低い状況が続いていますが、生産者や関係機関の努力により生産回復が図られて、近年並みの単収が確保できて参りましたので、さとうきび生産者の経営の安定・



ハーベスターによる収穫作業

向上のため、引き続き、再生産可能な生産者交付金の確保や単収や品質の安定生産対策に取り組んでいきたい。

問 ②ハーベスター料金について。

答 町長 ハーベスター料金については、平成26/27年期から4,769円から5,000円に値上げされました。この料金改定の問題は、その以前からハーベスター利用組合において、値上げを要望する意見がありました。さとうきび作への影響があることから、価格改定が持ち越されてきました。しかし、消費税の引き上げや燃料代等が高騰

し、ハーベスター組合の運営も厳しいことから、価格改定がなされたところです。現在、収穫作業の95%がハーベスター収穫となっており、さとうきび振興におけるハーベスター組合の役割も重要になっていきますので、お互いの経営が安定し両者の関係が成り立つよう、単収向上対策に協力して取り組むことが重要だと考えます。

問 天皇、皇后両陛下奄美群島ご訪問について。

答 町長 天皇、皇后両陛下の月前に宮内庁から発表されているようにです。



宗村 勝議員

自殺対策について

町長／知名町地域自殺対策計画を平成30年度を 目途に策定し、自殺対策の更なる推進を図る

問 平成28年10月に自殺対策基本法が施行されて自殺対策を総合的に推進し、自殺の防止を図り国民が健康で生きがいをもちながら暮らせることのできる社会の実現に寄与する目的とするところであります。本町の自殺対策の取り組み等を伺います。

答 町長 本町における自殺対策は平成24年3月に策定の「知名町健康増進計画・健康な21」に自殺者をなくするための施策として、「うつ病対策の充実」、「自殺予防のための知識の普及」、「社会全体で取り組む自殺予防対策の充実」を掲げ、家庭、地域、職場、行政それぞれの立場での具体的な取り組みを提示し、年1.3名程度と推移している自殺者数の皆減を目指しています。今後の本町の取り組みとしては、平成二十九年度に策定された「自殺総合対策大綱」及び今後、厚生労働省から「地域自殺対策計画策定指針」に基づく、「知名町地域自殺対策計画」を平成三十年度を目途に策定し、自殺対策の更なる推進を図ることとしている。



舗装が待たれる大野地区農道

舗装のまま放置されており砂利等の剥き出しやデコボコで危険な状態である。早期に舗装整備が出来ることを望む。

答 町長 第二知名東部地区は平成13年度に区画整理が終了している地区ですが、当時の農道の舗装が一般的ではなく、道路の勾配や利用頻度、防災等の舗装箇所の選定でも、農道芦清良一号線についても未舗装の状態となっております。大野地区は現在県管畑地総合整備事業瀬川地区区内にあり、畑灌の整備が進められている地区です。現場状況や利用頻度を考慮すると舗装が必要であるため、事業内での実施について県農村整備課と協議してまいります。

問 「教育遺産・文化遺産」の保存、整備について、下平川幼稚園の傍らにある半世紀以上も前に建造された下平川小学校及び下平川中学校の飲料水用の水タンクと余多学校のある水汲み場（チンキヨ）等が日の目をみない状態です。そりど佇んでいる状態である。先人の知恵を後世に残すために案内板等の設置を望む。

答 町長 下平川幼稚園跡地にある水タンクは、昭和三十三年、下平川小学校「創立六十周年記念」として設置されたものであり、余多の水汲み場（チンキヨ）は字民の生活用水確保のため整備されたものと思えます。下平川幼稚園跡地にある水タンクには、今年度の節目の年にあたりますので、この機会に地域の教育遺産としてPTAや校区全体と協議して検討したいと思っております。また余多の水汲み場（チ



教育遺産（飲料水用の水タンク）



フローラルパークの再整備を

ンキヨ）は先人の貴重な財産として字の責任において整備管理していただきたい。

問 フローラルパークの再整備について、「グランドゴルフ、サッカー、ラグビー」等多目的に利用できるようにフロアラルパークを再整備しプロ選手や実業団、学生チーム等の合宿やミニキャンプ等の誘致を勧める事により交流人口の増加に繋がられると思うので、それらを考慮した再整備を望む。

答 町長 現在利用されている多目的広場等は基本的にはそのままの形で利用し、西側の貸農園の敷地を、国や県の補助事業導入も視野にいれつつ、関係者とも協議しながら中期の再整備を実施したい。

本町地域防災計画の修正箇所について



西 文男 議員

町長／東日本大震災を踏まえ、従来の地域防災計画の内容に加え新たな項目も盛り込んだ

問 修正後の地域防災計画について、町民及び学校等諸施設への周知はどのように行っているか。

答 町長 地域防災計画について、現在配布先については最終の確認をしている。町民への周知につきましては、避難所でもある字公民館や小中学校への設置、ホームページでの公表など周知の方法について検討していく。

問 訓練計画に基づき町民参加の避難訓練は、実際どのように行われているか。

答 町長 地域防災計画にも防災訓練は少なくとも年1回以上実施するよう努めるものとして、今年9月1日にあしびの郷・ちなを避難場所に指定し、地震津波を想定した訓練を実施している。参加団体は警察、消防署、航空自衛隊、消防団、知名各校各自の多くの住民参加のもと実施した。今年には特別に鹿児島県警ヘリによる救助訓練もあった。避難訓練では海岸部に近い小米地区と知名地区の住民の家を消防団員が確認して廻り、津波到達予定時刻までの短時間で逃げ遅れた住民を安

全な場所に誘導する訓練を実施した。



防災訓練

問 避難箇所でのプライバシーを確保できるスペースはあるか。(女性用) 又、寝具及び食料等の確保はどのように考えているか。

答 町長 公民館や小中学校の避難スペースは大広間を使用するため仕切り等を設置しないとプライバシーの確保が難しい状況である。災害時に避難してくる住民は高齢者、女性、子供、妊婦や傷病者も想定されるので、避難スペースの大きさを判断してプライバシーを確保しなければいけない。避難所は寝具、食糧等の備蓄はない。

問 干ばつ対策について干ばつ対策本部の設置の条件はどのような時期に立ち上げるのか。

答 町長 干ばつ対策本部の設置は、鹿児島地方気象台の梅雨明け宣言後に設置している。



スプリンクラー



整備が進むかん水施設

問 干ばつ時に、畑かん施設のない圃場への散水対策に対する散水機等は十分か。

答 町長 現在、散水機4台を保有し、西部方面に2台、東部方面に2台配置し、散水を行っているが、今年の干ばつにおいては、西部地区で降雨量が少なく申し込みが多かったことから、南栄糖業の糖蜜タンクを活用した臨時の散水車を追加した。

問 ミカンコミバエが本年6月に3回、知名町及び沖永良部管内で発見されたが、どのような対策を行ったか。

答 町長 初動防除としては、誘殺地点から半径1km以内ミカンコミバエを誘殺するテックス版を3,000枚設置し防除対策を実施した。



ミカンコミバエトラップ

問 干ばつ対策本部による具体的な活動及び地域の農家にどのような周知、対策を行っているか。

答 町長 防災無線等による散水の啓発と畑かん施設がないほ場への散水車による散水を実施しています。

平成29年 第1回臨時会で審議された案件

議案番号	件名	議決結果
議案第34号	工事請負契約の締結について (平成29年度上城小学校屋内運動場大規模改造工事)	可決

平成29年第2回臨時会で審議された案件

議案番号	件名	議決結果
議案第35号	工事請負契約の締結について (余多防災拠点施設建設事業建設工事)	可決
同意第19号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて(市来真吾)	同意
同意第20号	知名町副町長の選任に付き同意を求めることについて(榊 憲次)	同意

平成29年 第3回定例会で審議された案件

議案番号	件名	議決結果
報告第5号	平成28年度健全化判断比率について	報告
報告第6号	平成28年度資金不足比率について	報告
報告第7号	おきえらぶフローラル株式会社経営状況について	報告
報告第8号	平成28年度教育委員会活動の点検・評価報告書について	報告
議案第36号	平成28年度知名町水道事業会計剰余金の処分について	原案可決
認定第1号	平成28年度知名町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第2号	平成28年度知名町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第3号	平成28年度知名町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第4号	平成28年度知名町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第5号	平成28年度知名町奨学資金特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第6号	平成28年度知名町国民宿舎特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第7号	平成28年度知名町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第8号	平成28年度知名町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第9号	平成28年度知名町合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第10号	平成28年度知名町土地改良事業換地清算特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第11号	平成28年度知名町水道事業会計歳入歳出決算の認定について	認定
承認第12号	専決処分事項の承認を求めることについて(専決第12号) 平成29年度知名町一般会計補正予算(第2号)について	承認
議案第37号	平成29年度知名町一般会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第38号	平成29年度知名町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第39号	平成29年度知名町介護保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第40号	平成29年度知名町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	原案可決

議案番号	件名	議決結果
議案第41号	平成29年度知名町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第42号	知名辺地総合整備計画の変更について	原案可決
議案第43号	知名町過疎地域自立促進市町村計画の変更について	原案可決
議案第44号	字の区域変更について	可決
議案第45号	物品売買契約の締結について（防災行政無線非常用親局設備購入）	可決
同意第21号	知名町教育委員会委員の任命に付き同意を求めることについて（東雄幸）	同意
陳情第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元、複式学級解消をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書採択の要請について	採択
陳情第4号	「高レベル放射性廃棄物等の持ち込み」拒否を求める意見書採択の要請について	採択
発委第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元、複式学級解消をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書	原案可決
発委第2号	「高レベル放射性廃棄物等の持ち込み」拒否を求める意見書	原案可決
決定第4号	閉会中の継続審査の件について	決定
決定第5号	閉会中の継続調査の件について	決定

陳情等の審査状況

議案番号	件名	議決結果
陳情第2号	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について	継続審査
陳情第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元、複式学級解消をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書採択の要請について	採択
陳情第4号	「高レベル放射性廃棄物等の持ち込み」拒否を求める意見書採択の要請について	採択

全員協議会の結果について

平成29年7月10日開催の第1回臨時議会で、議員の兼業禁止条項に抵触しているのではないかと、議員全員による全員協議会の開催を求める動議が出され、8月21日に全員協議会が開催されました。

全員協議会では、契約に係る支出の経理書類等を示し、兼業にあたらぬとの決定を見ました。今後とも議員は町民全体の奉仕者として、自らの役割を深く自覚し、常に政治倫理に関する高潔性を示すよう求められることから、引き続き政治倫理検討委員会を開催し、政治倫理条例の制定に向けて取り組むことが確認されました。



「町民体育大会へ清掃ボランティア」を実施

知名町議会議員連盟は、10月4日(水)町民体育大会の会場となっている、大山総合グラウンド周辺の清掃活動を行った。この活動は、当日気持ちよくグラウンドを使って欲しいと毎年実施している。午前8時30分から周辺の除草やゴミの搬送に精を出し、町婦人連絡協議会の会員と供に、約2時間にわたって汗を流した。

平成28年度 一般会計など11会計の決算を認定 ＝歳出総額約88億＝

全会計での総計決算額は、歳入9,127,546,583円、歳出8,800,929,352円で、差引326,617,231円となっている。この形式収支から翌年度への繰越財源である26,431,000円を差し引いた実質収支額は、300,186,231円の黒字決算となっている。

(単位:円)

区 分	歳 入	歳 出	歳入歳出差引残額 (形式収支額) (C)	翌年度へ繰越 すべき財源 (D)	実質収支額 (E)=(C)-(D)	
	収入済額 (A)	支出済額 (B)				
一 般 会 計	6,430,825,523	6,175,664,213	255,161,310	26,431,000	228,730,310	
特 別 会 計	国民健康保険	1,258,858,067	1,251,055,251	7,802,816		7,802,816
	介護保険	789,067,145	768,187,609	20,879,536		20,879,536
	後期高齢者医療	76,463,058	75,451,075	1,011,983		1,011,983
	奨学資金	21,261,580	21,261,390	190		190
	下水道事業	130,254,799	127,982,377	2,272,422		2,272,422
	農業集落排水事業	183,302,593	181,330,992	1,971,601		1,971,601
	合併処理浄化槽事業	18,519,875	17,771,484	748,391		748,391
	国民宿舎	210,122		210,122		210,122
	土地改良事業換地精算	27,806,320		27,806,320		27,806,320
	小 計	2,505,743,559	2,443,040,178	62,703,381		62,703,381
水道事業会計	190,977,501	182,224,961	8,752,540		8,752,540	
合 計	9,127,546,583	8,800,929,352	326,617,231	26,431,000	300,186,231	

一般会計・特別会計に対する監査委員の意見（抜粋）

歳入においては、一般会計における町の自主財源である町税、基盤整備分担金、児童福祉費負担金、住宅使用料等の滞納の解消、また、特別会計では国保税等の滞納の解消が大きな課題である。これらの収入未済額については、関係各課において期間を設定して徴収を強化したり、電話催促、納税相談、納税警告、戸別訪問など各般にわたる徴収努力がなされているところであるが、容易に改善されないことも看過できない事実である。収入未済額は依然として多額であり、厳しい財政状況の中、財源の確保と公平負担の観点から住民に不公平感を抱かすことのないよう、全庁的な『徴収特別対策会議』の開催、さらには、徴収体制の整備も含め行政全体でより効果的上がる対策を講じ、その解消に努めるとともに、使用料、手数料等の見直しを行い、自主財源の確保に努められたい。

一方、歳出においては、厳しい財政状況の中、一般会計においては、福祉施策の充実、産業の振興、交通体系等の社会資本の整備、教育環境の整備、社会教育の充実などの諸施策が積極的に計画、執行され成果を収めたことを評価したい。また、特別会計においても保健医療対策や介護保険制度や後期高齢者医療制度の充実、さらには公共下水道事業、農業集落排水事業、合併処理浄化槽事業による生活環境の整備が積極的になされたことを評価するが、加入率の促進を図られたい。引き続き限られた財源の重点的な配分と経費支出の効率化に徹し、経済の動向に即応した運営に配慮しつつ、本町の繁栄と住民福祉の充実・向上を望む。

水道事業会計に対する監査委員の意見（抜粋）

厳しい経営状況にありながら、人件費の縮減等や路面復旧工事を職員で行う等の経費の節減に努めつつ、既存施設の適正な維持管理と水道水の安定確保を図る一方、建設改良事業により期限切れに伴うメーターの購入、取替え、ポンプの修繕、取替えや老朽化した配水管の一部布設替えを行うなど有収率の向上に向けた取り組みがなされるなど、全般的に安定した企業経営による飲料水の供給が行われている。

今後の企業経営にあたっては現状分析を行い、業務内容の見直し等により費用の縮減に努めるとともにバランスを図りながら健全な企業経営に努められたい。

6月

- 14日・第2回知名町議会定例会(1日目)
- 14日・第2回知名町議会定例会(2日目)
- 15日・第2回知名町議会定例会(3日目)
- ・あまみ農協知名事業本部
- 第2回組合大会
- 16日・沖水良部島漁協第57回通常総会
- 17日・沖水良部農業水利事業所・耕地課交流会
- ・J.Aあまみ知名事業本部第11回総代会
- 20日・えらふフロ1ラルホテル株主総会・役員会
- 23日・老連第38回ゆめ・ときめき南3町交流研修会
- 26日・役場新庁舎建設基本構想検討委員会
- ・ミカンコミバ工種誘殺状況説明会
- ・沖水良部昇造洞観光社通常総会
- 27日・知名町糖業振興会役員会
- 28日・平成29年第2回沖水良部バス企業団定例議会
- ・平成29年度沖水良部精神障害者家族会「喜生の会」総会
- 第10回知名町畜産振興会総会・交流会
- 30日・平成29年度沖水良部地区防犯協会定期総会並びに少年補導員委嘱式
- 1日・国営事業所開所10周年記念グラウンドゴルフ大会
- ・国営事業所開所10周年記念懇親会
- ・田皆字きび祭り
- 4日・知名町消防団長就任祝賀会
- ・正副議長研修会
- 8日・しらゆり保育園夏まつり
- 9日・第170回大山神社祭
- 9日・第1回知名町議会臨時会
- 10日・知名町糖業振興会定期総会

7月

- 11日・奄美ブロック護憲平和フォーラム代表 関誠之氏議長訪問
- 13日・第1回知名町図書館協議会及び読書活動推進協議会
- ・第1回政治倫理検討委員会勉強会
- 16日・第24回海人まつり
- 19日・平成29年度防衛省全国情報施設協議会総会
- 20日・上城小体育館大規模工事安全祈願祭
- 25日・知名町遺族会役員会
- 27日・奄振予算要請活動・懇談会
- 28日・第58回大島地区大会知名町選手団解団式
- 29日・ふるさと夏まつり グラウンドゴルフ大会
- 30日・町民パレードホール大会
- 1日・議会勉強会・町内視察
- 3日・市町村政研修会
- 11日・あまみ農協利用者年金友の会 知名支店総会
- 12日・安全祈願祭
- ・第25回知名町ふるさと夏まつり 前夜祭
- 13日・第25回知名町ふるさと夏まつり 本祭
- 14日・「知事と語る」車座対話」及び意見交換会
- 17日・第1回知名町下水道事業運営委員会
- 18日・平成29年第2回国保・後期・第2回政治倫理検討委員会勉強会
- 20日・四並蔵神社奉納相撲大会
- 21日・第2回知名町議会臨時会
- 23日・議会全員協議会
- ・議会広報研修会

8月

- 2日・区長会交流会
- 5日・役場新庁舎建設に係る行政視察(9/5/5/7)
- 6日・役場新庁舎建設に係る行政視察(9/5/5/7)
- 第9回通常総会(沖水良部花き専門農業協同組合)
- 7日・役場新庁舎建設に係る行政視察(9/5/5/7)
- 8日・交通安全町民会議
- 余多コミュニティセンター工事安全祈願祭
- 9日・さくら園敬老会
- 10日・第65回園敬老会
- 12日・知名町高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業計画策定委員会
- 13日・平成29年度県民防災講演会in沖水良部
- 14日・長寿園敬老会
- 15日・第35回知名町合同金婚式
- 20日・議会運営委員会

9月

- 21日・白百合大学9月教室(敬老会)
- ・交通安全パレード・街頭キャンペーン
- 25日・平成29年第3回知名町議会定例会 開会
- 27日・J.Aあまみ知名事業本部園芸振興会グラウンドゴルフ
- 28日・奄振振興会第35回通常総会
- 28日・平成29年第2回沖水良部衛生管理組合議会定例会
- 29日・奄美・やんばる広域圏交流推進協議会総会

8月

- 11日・リコージャパン株式会社及びM.I.Cとの地方創生に係る連携協力調印式
- 13日・平成29年沖水良部与論地区広域事務組合議会第1回臨時会
- 16日・J.Aあまみ知名事業本部園芸振興会グラウンドゴルフ
- 19日・奄振振興会第35回通常総会
- 20日・平成29年第2回沖水良部衛生管理組合議会定例会
- 28日・奄美・やんばる広域圏交流推進協議会総会

編集後記

秋の気配が漂う季節となりました。農家の皆様におかれましてはサトウキビの夏植えや馬鈴薯の植え付け等が始まるシーズンとなり、来季も豊作や価格高騰を期待すると云えます。平成29年第3回議会定例会においては、一般質問に8名の議員が登壇し、町政全般に対して町当局に問いたすことができ、特別委員会での認定や本会議での承認や議案、教育委員の人事案件等すべて議決することができました。また昨年行われなかった町議会議員選挙で私を含め7人の新人議員が誕生しました。それから1年が過ぎ、議会活動にやっとな慣れてきたかなと思うところで。

さて、知名町議会では、よりよいまちづくりを推進するためには、町民と議会の連携が必要であるとの観点から、議員自らが地域に向いて「議員と語る会」を10月下旬に開催予定です。多くの町民のみならずのご参加をお願い致します。

最後になりますが、気温の変動などで体調を崩さないよう健康管理には充分留意されてお過ごしください。

議会広報委員 宗村 勝